

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00061)

事務事業名称	すぎなみフェスタ			款	03	項	01	目	01	事業	008	整理番号	061
現担当課名	地域課	係名	地域係	連絡先電話番号	3762			昨年度整理番号	059				
上位施策No・施策名	27 多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成25年度												
令和 4年度担当課名	文化・交流課							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	すぎなみフェスタ来場者 すぎなみフェスタ協賛者 すぎなみフェスタ連携イベント	根拠法令等 (1) (2)	すぎなみフェスタ実行委員会規約
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	「人と人、地域と地域をつなぎ、杉並を元気に」を基本理念に、すぎなみフェスタを開催する。すぎなみフェスタを中核に、他のイベントと連携しながら、杉並の魅力を内外に発信し、地域社会・地域経済の活性化につなげる。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	すぎなみフェスタ開催 すぎなみフェスタ実行委員会・作業部会開催
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	すぎなみフェスタ実行委員会において、イベント内容を企画して実施する。 すぎなみフェスタ実行委員会に事業共催分担金を支出する。	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	すぎなみフェスタへの来場者 2日間の延べ来場者数【区民】 すぎなみフェスタへの協賛金額 すぎなみフェスタへの企業・団体・個人の協賛金合計額【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度 対計画比 (%)	令和 4年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 (1)	1 回	1	1	0	1	1	1	100.0	100.0
活動指標 (2)	2 回	4	4	4	4	4	4	100.0	
成果指標 (1)	3 人	91,000	100,000	0	100,000	95,000	100,000	95.0	
成果指標 (2)	4 千円	4,965	4,000	0	6,000	6,192	6,000	103.2	
事業費	5 千円	9,000	700	645	10,000	10,000	9,000	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	13,435	12,755	13,182	12,515	13,059	12,477	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	22,435	13,455	13,827	22,515	23,059	21,477		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	22,435	13,455	13,827	22,515	23,059	21,477		

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 061

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	すぎなみフェスタ実行委員会へ事業共催分担金の支出(プレフェスタ分含む)	1	回	10,000
	杉並区地域活性化事業推進本部会・幹事会の開催	1	回	0
	すぎなみフェスタ実行委員会の開催	4	回	0
	その他 ()			
取組成果	<p>2年振りの開催となったすぎなみフェスタ2022は、コロナウイルス感染症対策を講じながら、区制施行90周年の冠事業として実施し、2日間で9万5千人の来場者を迎えて盛況のうちに終了しました。昨年同様、飲食・物販、交流自治体等のテント出店やステージイベント、90周年記念として各種の特別な催しを行ったほか、ウクライナを支援するため、海外文化セミナーとしてウクライナを紹介する取組を行いました。また、フェスタに先立ち、すぎなみ舞祭と連携してすぎなみプレフェスタを下高井戸おおぞら公園で同時開催いたしました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>令和4年度の来場者は、目標であった10万人には達しなかったものの、令和2年度の9万1千人に比較して4千人増の9万5千人となりました。また、協賛金額は目標の600万円に対し、619万円と目標額を上回る協賛を得ることができました。</p> <p>10年間9回の開催を通じて、区内最大のイベントとして定着したといえるすぎなみフェスタではありますが、より一層、区民に身近なものにしていくため、今後は、フェスタの運営についても、区民の方に今まで以上に積極的にご参加いただき、区民が主体となって取り組むイベントにしていく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>5月の令和5年度第1回すぎなみフェスタ実行委員会で、11月4・5日の2日間、桃井原っぱ公園を会場に、毎年恒例の新鮮野菜販売、おいしいもの、遊び・学びのコーナー、ダンスや演奏のステージプログラムなどのほか、各種の連携イベント、交流物産展等の取組・催しを内容として、「すぎなみフェスタ2023」を開催することを決定いたしました。</p> <p>子どもからご高齢の方まで、年齢を問わず誰もが楽しめるイベントとして開催出来るよう、引き続き準備を進めていきます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>フェスタについて実行委員会で検討し、今後、環境に配慮した取組を進めることとしました。</p> <p>今年度は、使い捨てプラスチックの削減を目的として、飲食コーナーにおける紙容器または環境に配慮した容器の使用や、レジ袋配布見合わせを出店者に求めるとともに、来場者にはマイバッグの持参を呼び掛けます。また、出店者の協力を得て、再使用可能な容器の利用に取り組みます。</p> <p>さらに、すぎなみフェスタをより一層、区民主導・区民が主体となるイベントにしていくため、次年度は、実行委員会の下に公募区民を中心に構成された作業部会を設け、区民の意見をフェスタの企画・立案に反映させていくほか、区民ボランティアを増やしていく予定です。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>環境に配慮した取組に対する経費を充実させることや一部業務を新たに委託する経費などの増要素はありますが、実施内容の見直しなどにより、すぎなみフェスタをより効率的に運営していきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00065)

事務事業名称	平和事業の推進				款	03	項	01	目	01	事業	012	整理番号	065
現担当課名	区民生活部管理課		係名	庶務係		連絡先電話番号	3753			昨年度整理番号	063			
上位施策No・施策名	27 多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進								予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度	実行計画事業	目標	08	施策	27	計画事業	04	主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
令和 4年度担当課名	区民生活部管理課								事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民、関係団体、民間団体	根拠法令等 (1) (2)	杉並区平和都市宣言
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民一人ひとりが、平和都市宣言の趣旨を理解し、戦争の悲惨さや平和の尊さに対する認識を深め、世界の恒久平和に寄与する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	平和のつどい開催日数 平和のためのポスターコンクール応募校数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	平和に関するパネル展示など、平和のつどいを実施する。 区内小中学校の児童・生徒を対象にした平和のためのポスターコンクールを実施する。 区内の中学生を広島に派遣し、平和について学び伝える平和学習中学生派遣事業を実施する。 北朝鮮拉致問題に係る啓発を行う。 関係団体と協働で平和事業を実施するなど、平和意識の啓発を図る。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	平和のつどいへの参加者数 【行政】 平和のためのポスターコンクール応募者数 【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 日	10	15	15	15	33	15	220.0	82.5
活動指標 (2)	2 校	15	25	20	25	25	25	100.0	
成果指標 (1)	3 人	740	1,000	1,310	1,000	1,650	1,000	165.0	
成果指標 (2)	4 人	240	1,000	545	1,000	712	1,000	71.2	
事業費	5 千円	2,207	4,615	2,606	7,875	6,499	8,315	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	7,653	11,054	12,932	25,029	27,948	16,636	前年度事業費からの増減理由 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により前年度中止した広島平和学習中学生派遣事業を実施することができたため、事業費が大きく増となりました。 執行残の理由 主に広島平和学習中学生派遣事業の事業実施委託料において、予算額と入札後の契約金額との間に差額が生じたため、予算の執行残が生じています。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	9,860	15,669	15,538	32,904	34,447	24,951		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	9,860	15,669	15,538	32,904	34,447	24,951	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 065

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	平和のつどい (7月・3月) の開催	2	回	823
	平和のためのポスターコンクールの実施	1	回	984
	平和共催事業への補助	3	回	500
	平和首長会議 (広島平和学習中学生派遣事業)	1	回	3,986
	その他 (日本非核宣言自治体協議会分担金、北朝鮮拉致問題啓発ほか)			206
取組成果	<p>令和5年3月に行った平和のつどいでは、例年実施している東京大空襲のパネルに加え、いまだ戦禍が続いているウクライナ情勢を報じた写真を展示しました。また、ポスターコンクールでは、周知に力を入れたことで、令和3年度に比べ応募校数は5校、応募者数は167人、増加しました。初の実施となった広島平和学習中学生派遣事業では、30人の派遣生が被爆地広島での体験のほか様々な学習活動を通じて、平和を希求する心を育てました。派遣生が各所属の学校でも学習成果を発表することで、全体で5,000人を超える中学生が平和学習の成果を共有することができました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>この年では、ウクライナ戦争の状況や北朝鮮による日本上空を通過する弾道ミサイルの発射などの影響によって、戦争や平和への関心の高まりをみせています。一方、戦後78年を迎え、戦争を知る世代が年々減少している中で、どのように戦争の悲惨さや平和の尊さを語り継ぎ、区民と共有していくかが大きな課題になっています。</p> <p>次世代への語り継ぎとともに、広島平和学習中学生派遣事業のように、次世代を担う若者が主体となって平和のための活動や発信を行う取組も並行して実施していく必要があると考えます。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>平和のつどいについては、中央図書館を会場に平和展を開催しました。原爆被害の実話を基にしたコミックを題材に当時の写真・映像を組み合わせた展示にしたことで、若い世代からも興味関心を引き、多くの来場者を得ました。広島平和学習中学生派遣事業については、29人の派遣生が被爆地・広島を訪問し、被爆の実態に触れながら、精力的に学習を行い、9月3日の成果報告会において学習成果を発表しました。平和都市宣言35周年記念事業については、10年前の小・中学生から寄せられた平和メッセージをコラージュしたパネル作品を制作し、上記成果報告会で展示を行いました。</p> <p>予算については、適切に執行をしている状況です。</p>
事業の方向性・改善策	<p>戦争を知らない若い世代に対しても、戦争の悲惨さ、平和の尊さを自分ごととして捉えてもらう取組を行っていきます。</p> <p>平和のつどい (平和展) については、展示内容を太平洋戦争に限定しないで、社会情勢等を踏まえ、現在発生している紛争等も展示することで、区民の興味関心を高めます。</p> <p>また、広島平和学習中学生派遣事業のように体験的な学習活動を通じて、戦争の悲惨さ、平和の尊さを学び、周囲の人々にも伝えていく取組を続けていき、次世代を担う若者が主体となる平和事業を推進していきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>令和7年度の平和首長会議総会は戦後80年を記念して長崎で実施されることから、令和7年度の平和学習中学生派遣事業の派遣先を長崎とする検討を行います。令和6年度に必要な準備経費、令和7年度に事業経費を計上するため、短期的に事業コストは拡充となる方向です。</p> <p>その一方で、現地中高校生との交流事業の参加や平和記念式典への安定的な参列を確保するため、派遣人数を若干減員することで、中・長期的にはコストの縮減を図ります。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00675)

事務事業名称	お試し移住支援			款	03	項	01	目	01	事業	015	整理番号	068
現担当課名	文化・交流課		係名	交流推進担当			連絡先電話番号	3772		昨年度整理番号	066		
上位施策No・施策名	27 多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成27年度	実行計画事業	目標	08	施策	27	計画事業	03					
令和 4年度担当課名	文化・交流課							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象 区民	根拠法令等 (1) (2)	まち・ひと・しごと創生法 (平成26年法律第136号)
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 地方での暮らしに関心がある区民を対象に交流自治体等の情報提供及び参加・利用の支援	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	お試し移住事業セミナー等開催回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) お試し移住を希望する区民に対する事業セミナー等 (現地見学会及び現地ツアー含む) を実施する。チラシやポスター等の広報媒体を作成し、お試し移住先のPRを実施する。	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	お試し移住事業セミナー等参加者数 お試し移住事業に関するセミナー等 (現地見学会及び現地ツアー含む) への参加者数【行政】 お試し移住事業利用者数 お試し移住事業を利用した区民の数【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	1	3	2	3	4	4	133.3	63.1
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 人	57	60	54	60	82	70	136.7	
成果指標 (2)	4 人	35	60	26	60	36	60	60.0	
事業費	5 千円	204	463	244	434	274	409	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	1,275	1,275	1,251	1,251	1,248	2,495	新型コロナウイルスの感染拡大により、近接地外への実踏が出来なかったことと、お試し移住等セミナーの講師にオンラインで参加していただいたため、拘束時間が短縮となり、謝礼が減額となったため、予算執行率が低くなりました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	1,479	1,738	1,495	1,685	1,522	2,904		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	1,479	1,738	1,495	1,685	1,522	2,904	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 068

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	お試し移住事業セミナーの開催	4	回	140
	お試し移住チラシ、ポスター等の作成	1	回	65
	その他 (郵券の購入等)			69
取組成果	<p>南伊豆町の通年事業「お試し移住事業」のPRを行うセミナー（令和4年6月26日、参加者18名）を区役所で開催しました。また、地方での暮らしに関心がある区民への情報提供等を目的とした、南伊豆町現地見学ツアー（令和5年2月25日～26日の1泊2日、参加者数15名）を開催しました。</p> <p>農業と自然が身近にある生活を楽しむ施設である小千谷市のクラインガルテンふれあいの里や南伊豆町の「お試し移住事業」のPRを行うセミナー（令和5年2月5日、参加者25名）を開催し、「関係人口」という、新しい地方との関わり方への理解を深める機会を提供しました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>コロナ禍でメディアが地方暮らし・移住を取り上げたため、一定の参加者数を確保出来ましたが、今後のセミナーは変化をつけて開催しないと参加者数を確保できない可能性があります。参加自治体を増やす等新たな内容で参加者の確保を目指します。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年6月25日に南伊豆お試し移住セミナーを区役所第5・第6会議室で開催し、南伊豆町に移住経験のある2名をゲストに迎え、移住に関するトークセッションや活発な質疑応答が行われました（参加者区内在住者20名）。</p> <p>今後は、成田西ふれあい農業公園で実施している「農にふれあう講座」の受講者を対象に、小千谷市のクラインガルテンふれあいの里出張説明会（9月24日）のほか、お試し移住支援セミナー（令和6年2月3日）を開催します。</p>
事業の方向性・改善策	<p>杉並区における、お試し移住関係のイベントは現在2自治体（新潟県小千谷市・静岡県南伊豆町）が開催していますが、コロナ禍でメディアが地方暮らし・移住を取り上げ、二拠点生活やリモートワークが一般的な事柄になってきていることから、他の交流自治体を新たに紹介することにより参加者の確保を目指します。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>コロナ禍でメディアが地方暮らし・移住を取り上げ、二拠点生活やリモートワークが一般的な事柄になってきているため、新規で福島県北塩原村のワーケーション事業を中心に紹介します。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00715)

事務事業名称	地方創生の推進				款	03	項	01	目	01	事業	017	整理番号	069	
現担当課名	文化・交流課		係名	交流推進担当		連絡先電話番号	3772		昨年度整理番号	068					
上位施策No・施策名	27 多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成26年度	実行計画事業	目標	08	施策	27	計画事業	03							
令和 4年度担当課名	文化・交流課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民、交流自治体	根拠法令等	(1) (2)	まち・ひと・しごと創生法 (平成26年法律第136号)
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区と交流自治体が互いに活性化する新しい人の流れの創出 都市部と地方の共存共栄 区の将来における人口減少の克服	活動指標	指標名 (1)	地方創生・交流自治体連携フォーラム開催回数
		指標説明	指標名 (2)	
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	地方創生・交流自治体連携フォーラムを開催する 。 交流自治体との新たな連携による事業を推進する 。 特別区全国連携プロジェクトを推進する。	指標説明	成果指標	
			指標名 (1)	
			指標説明	
			指標名 (2)	
			指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	0	1	0	1	1	1	100.0	52.4
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	295	1,429	297	1,419	743	1,418	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	1,956	2,976	3,838	2,920	3,909	5,823	新型コロナウイルスの感染拡大により交流自治体への訪問が一部出来なかったことと、連携フォーラムの講師1名が国家公務員で報酬が不要だったため、予算執行率が低くなりました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	2,251	4,405	4,135	4,339	4,652	7,241		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	2,251	4,405	4,135	4,339	4,652	7,241	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 069

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	第七回地方創生・交流自治体連携フォーラムの開催	1	回	257
	区民ライターを活用した交流自治体情報発信	2	回	186
	交流自治体への出張 (第七回開催地下見2回、第八回開催地下見1回等)	4	回	232
	その他 (郵券の購入等)			68
取組成果	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止としていた第七回地方創生・交流自治体連携フォーラムを3年ぶりに北塩原村にて開催、担当者会議はオンラインを併用するなど感染防止対策を徹底しました。</p> <p>また、区民ライターを活用し、北塩原村と忍野村の魅力をすぎなみ学倶楽部のWEBサイトを通じて発信しました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>地方創生・交流自治体連携フォーラムについては、交流自治体が連携し、共に輝く地方創生の実現を目的として、平成27年7月に第1回を北海道名寄市で開催し、交流自治体を巡回しながら令和4年度で7回目となりました。残り2自治体で一巡となり、各自治体独自の取り組みの共有等を図っています。</p> <p>特別区全国連携プロジェクトは、特別区と全国各地域の経済活性化や絆の強化を図っているものですが、今年度は官民連携に関する講演会に2回参加しました。今後はさらに特別区全国連携プロジェクトのホームページを活用し、交流自治体の物産展や写真展、すぎなみフェスタ等のイベントのPRを積極的に行っていきます。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年5月20日に山梨県忍野村で第八回地方創生・交流自治体連携フォーラムを開催し、前日は「地域価値の洗練と遠隔連携から今後の村づくりを考える」をテーマに忍野村の発表がありました。また、当日は東京都立大学の杉本寛教授に「交流・連携が切り拓く共生と共在の地域づくり」について基調講演していただいた後、「自治体間連携による地域価値の洗練と関係人口の拡大」をテーマに首長同士による活発な討議が行われました。</p> <p>令和6年度開催予定の第九回に向けては、11月27日にフォーラム担当者会議を開催します。</p>
事業の方向性・改善策	<p>地方創生・交流自治体連携フォーラムについては、令和6年度の開催で、参加9自治体全ての地で開催されることになるため、今後の開催方法や交流方法について各自治体と調整、共有を図ります。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	第九回地方創生・交流自治体連携フォーラムを群馬県東吾妻町で令和6年5月に開催予定です。	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00068)

事務事業名称	文化・芸術の振興	款	03	項	01	目	02	事業	001	整理番号	071
現担当課名	文化・交流課	係名	文化振興担当係					連絡先電話番号	3782	昨年度整理番号	071
上位施策No・施策名	27 多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進							予算事業区分	既定事業		
事業開始		実行計画事業	目標	08	施策	27	計画事業	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
令和 4年度担当課名	文化・交流課							事業評価区分	一般		

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民、文化・芸術団体	根拠法令等	(1) 杉並区と日本フィルハーモニー交響楽団との相互協力に関する覚書 (2) 杉並区新しい芸術鑑賞様式助成金交付要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	区民が優れた文化・芸術に触れる機会が増えるとともに、区民の主体的・創造的な文化・芸術活動が活発に行われている。	活動指標	指標名 (1) 日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業の実施回数 指標説明 指標名 (2) 文化芸術活動助成金事業件数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	日本フィルハーモニー交響楽団友好提携事業、区民ギャラリーの活用（企画展や区民貸出し）等を中心とした文化・芸術事業を実施する。 区民や区内団体が行う文化・芸術活動について、助成金等を通して支援する。	成果指標	指標名 (1) 日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業の参加者数 指標説明 【行政】 指標名 (2) 文化芸術活動助成金事業の参加者数 指標説明 【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	38	43	35	39	38	36	97.4	93.9
活動指標 (2)	2 件	574	75	76	50	50	25	100.0	
成果指標 (1)	3 人	6,089	9,700	8,428	9,700	9,244	8,960	95.3	
成果指標 (2)	4 人	374,287	45,000	73,348	30,000	83,663	37,500	278.9	
事業費	5 千円	248,076	104,425	95,409	66,379	62,350	56,138	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	31,291	29,761	33,706	33,372	35,851	24,954	
	上記以外の職員	7 千円	10,884	10,884	11,025	11,025	11,034	11,034	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	290,251	145,070	140,140	110,776	109,235	92,126		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	157,110	0	7,000	0	18,000	0	
	その他の補助金等	11 千円	1,203	10,620	1,253	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	158,313	10,620	8,253	0	18,000	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	131,938	134,450	131,887	110,776	91,235	92,126	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 071

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	文化・芸術活動の支援の実施	50	件	18,479
	日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業の実施	38	回	17,157
	杉並公会堂利用料の支出 (延べ日数)	67	日	12,568
	スギナミ・ウェブ・ミュージアムの運営・発信			2,000
	その他 (協働事業の実施、情報紙の発行ほか)			12,146
取組成果	<p>令和3年度に引き続きコロナ禍においても、感染症対策を講じた上で、音楽や演劇等の公演活動を行う事業者等に対して、文化・芸術活動が継続できるよう支援しました。</p> <p>また、日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携に基づき区役所ロビーコンサートや、学校への出張音楽教室、区・日本フィル・杉並公会堂の三者による実行委員会形式の演奏会等計38回の事業を実施しました。</p> <p>仮想美術館「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」は常設展に加え企画展を4回実施しました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業の参加者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していましたが、令和2年度6,089人、令和3年度8,428人、令和4年度9,244人と増加しました。しかし、コロナ禍以前の参加人数 (平成30年度12,775人) までには回復できていません。また、友好提携事業の多くは、区役所と杉並公会堂を中心に実施しているため、それ以外の地域において、コンサートを鑑賞できる機会の提供が求められています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>文化芸術活動助成金事業は、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して区民や区内に拠点を持つ団体が行う文化・芸術活動50件を支援しました。令和5年度以降も、文化芸術活動の支援を通じて、区民が多様な文化・芸術に触れる機会を創出するために、今後の助成金制度のあり方について文化・芸術振興審議会において審議していくことが必要です。</p> <p>また、仮想美術館「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」の総アクセス数は、令和3年度に対して42%増加していますが、区の文化・芸術活動への関心を高めるために、魅力ある展示への取組が重要です。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年度は、日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携に基づく、区・日本フィル・杉並公会堂の三者による実行委員会形式の演奏会 (全4回) がチケット完売となり、参加者数も増加する見込みです。</p> <p>文化芸術活動助成金事業は、区民や区内に拠点を持つ団体が行う文化・芸術活動25件 (事業費1,000万円) へ助成金の承認を行いました。</p> <p>また、「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」は、区にゆかりのある芸術家の作品を新たに展示し、常設展の充実を図っています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>引き続き日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業による演奏会等の実施や、区民や区内に拠点を持つ団体が行う文化・芸術活動の支援を通じて、区民等が文化・芸術に親しめる機会を創出します。</p> <p>また、仮想美術館「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」はNP 法人との協働により、今後も常設展示を充実し、魅力ある企画展示を行うとともに、文化・芸術情報紙「コミュかる」と連動して情報発信を行うことで、誰もが身近に文化・芸術作品を鑑賞できる環境を整えます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>現時点では、令和4年度予算と同規模の事業費等により、文化・芸術の振興を図っていく考えです。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00069)

事務事業名称	国際・国内交流の推進				款	03	項	01	目	02	事業	002	整理番号	072	
現担当課名	文化・交流課		係名	交流推進担当係		連絡先電話番号	3786		昨年度整理番号	072					
上位施策No・施策名	27 多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成元年度	実行計画事業	目標	08	施策	27	計画事業	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和 4年度担当課名	文化・交流課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区内在住、在勤、在学	根拠法令等	(1) 国内友好都市（名寄市・東吾妻町）との交流協定 (2) 国外友好都市（ウイロビー市・瑞草区）との交流協定
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	国内外の交流自治体と教育・文化・スポーツ等の多様な分野を通じて交流の輪を広げる。区民・市民同士の交流を進め、友好親善を深める。多文化共生社会の実現に向け、相互理解を深める。	活動指標	国際交流事業数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	交流自治体「北海道名寄市、群馬県東吾妻町、ウイロビー市（オーストラリア）、ソウル市瑞草区（大韓民国）等」の代表団の受入れ、区代表団の派遣を行う。 交流自治体が区民を対象に行う生産物即売等各種事業の支援を行う。 他課・他団体が行う交流事業への支援を行う。	指標名（ 1 ）	国際交流事業数
		指標説明	国内交流事業数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	交流自治体「北海道名寄市、群馬県東吾妻町、ウイロビー市（オーストラリア）、ソウル市瑞草区（大韓民国）等」の代表団の受入れ、区代表団の派遣を行う。 交流自治体が区民を対象に行う生産物即売等各種事業の支援を行う。 他課・他団体が行う交流事業への支援を行う。	成果指標	国際交流事業参加者数
		指標名（ 1 ）	【行政】
		指標説明	国内交流事業参加者数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	交流自治体「北海道名寄市、群馬県東吾妻町、ウイロビー市（オーストラリア）、ソウル市瑞草区（大韓民国）等」の代表団の受入れ、区代表団の派遣を行う。 交流自治体が区民を対象に行う生産物即売等各種事業の支援を行う。 他課・他団体が行う交流事業への支援を行う。	指標名（ 2 ）	国内交流事業参加者数
		指標説明	【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	7	15	17	15	12	15	80.0	39.4
活動指標 (2)	2 人	17	20	17	20	67	80	335.0	
成果指標 (1)	3 人	301	1,000	1,361	1,000	1,221	1,500	122.1	
成果指標 (2)	4 人	390	5,000	510	3,000	1,228	3,000	40.9	
事業費	5 千円	3,925	22,358	5,459	25,272	9,957	33,917	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	13,605	21,258	22,276	20,858	22,459	20,795	新型コロナウイルスの感染拡大により国際・国内交流事業の一部が中止・延期となったため、予算執行率が低くなりました。
	上記以外の職員	7 千円	7,256	3,628	3,675	3,675	3,678	3,678	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	24,786	47,244	31,410	49,805	36,094	58,390		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	24,786	47,244	31,410	49,805	36,094	58,390	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 072

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	杉並区交流協会分担金の支出	1	件	4,807
	交流自治体情報紙「てくてく」の発行	2	回	2,967
	国内交流自治体への代表訪問団等の派遣	6	回	863
	すぎなみ地域おこし協力隊事業	1	件	175
	その他 (国内交流事業ほか)			1,145
取組成果	<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じ、国内交流自治体の特産品等を販売する物産展を36回、写真展を8回開催しました。また、交流自治体への人の流れの創出を目的としたすぎなみ地域おこし協力隊事業(1月)やSNS発信をテーマとした交流自治体担当者ワークショップ(2月)を実施しました。交流自治体情報紙「てくてく」では、交流自治体の特産品や各種イベントの魅力を情報発信(2回)しました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>国内10自治体(名寄市、東吾妻町、小千谷市、北塩原村、南相馬市、青梅市、武蔵野市、忍野村、南伊豆町、小笠原村)、海外3都市(オーストラリア連邦ウィロビー市、大韓民国ソウル特別市瑞草区、台湾台北市)、2国(ウズベキスタン共和国、パキスタン共和国)と文化、スポーツ等を通じた交流を深めています。</p> <p>国際交流事業参加者数は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業が前年度で終了したことから、前年度比10%減の1,221人(目標値比122%)となりました。また、国内交流事業参加者数は、感染症対策を講じながら積極的に事業を実施した結果、前年度比141%増の1,228人(目標値比41%)となりました。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、令和2年度以降は人の往来を制限され国際・国内交流事業が中止・延期する状況が続きましたが、令和5年5月に国の新型コロナウイルス感染症対策が廃止され、対面での交流事業が回復することが見込まれます。この状況下で、国際・国内交流事業参加者数を増加し、交流自治体との関係性を発展させていく必要があります。</p> <p>また、ウクライナ避難民(令和4年3月末現在24名)への支援については、令和4年から相談窓口の設置(令和4年度64件)や寄附金の受付等を行っていますが、避難生活が長期化する中、杉並区交流協会と連携し、継続的な支援につなげていくことが課題です。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込含む)	<p>国内交流事業は、当初計画で交流自治体の観光物産展36回、写真展9回などを実施する予定であり、計画を上回る実施回数となる見込みです。</p> <p>国際交流事業は、5月に東京高円寺阿波おどり台湾公演を杉並区交流協会と連携して実施し、62,500人の来場がありました。11月には台湾戯曲学院が来日し、区内で台湾雑技の公演を行う予定です。また、ウクライナ避難民(令和5年8月末現在26名)への支援については、相談窓口や寄附金受付を継続するほか、東京都からのスポーツ観戦やコンサート鑑賞等の案内を周知しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>国内外交流自治体との関係性がより発展していくよう、文化・スポーツ・教育など多分野で魅力的な事業を実施し、国際・国内交流事業参加者数を増加させていく必要があります。そのため、東京高円寺阿波おどり台湾公演等のコロナ禍で中止・延期していた事業を再開するとともに、交流自治体の観光物産展への区民ボランティア参加等の新規事業にも取り組みます。</p> <p>また、避難生活が長期化するウクライナ避難民(令和5年8月末現在26名)への支援については、国や東京都、民間団体と協力して継続的に実施していきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>国内交流事業は、アフターコロナの状況下において、交流自治体の観光物産展や写真展等の事業を積極的に実施していきます。また、交流自治体情報紙やSNS等を活用し、交流自治体の魅力を発信し、区民の関心を高めていきます。</p> <p>国際交流事業では、区と国立台湾戯曲学院との「文化・芸術の相互交流推進宣言」に基づく台湾との文化事業や韓国ソウル特別市瑞草区との職員派遣交流等を通じて国際交流都市との交流を推進します。また、ウクライナ避難民への支援については、避難生活が長期化することを見据え、国や東京都、民間団体と協力して継続的に実施していきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00070)

事務事業名称	杉並区交流協会助成	款	03	項	01	目	02	事業	003	整理番号	073	
現担当課名	文化・交流課	係名	交流推進担当係					連絡先電話番号	3785	昨年度整理番号	073	
上位施策No・施策名	27 多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進							予算事業区分	既定事業			
事業開始								主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 4年度担当課名	文化・交流課							事業評価区分	一般			

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象 区民、交流団体	根拠法令等 (1) 杉並区一般財団法人に対する助成に関する条例 (2) 杉並区一般財団法人に対する助成に関する条例施行規則
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか） 在住外国人の支援や異文化理解を通じて、多文化共生社会を構築する。 国内交流において、区民・市民同士の交流が活発に行われている。	活動指標 指標名 (1) 在住外国人支援事業回数 指標説明 指標名 (2) 子ども日本語学習支援ボランティア修了者数 指標説明
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） 一般財団法人杉並区交流協会に対し、交流事業が円滑に行えるように補助金を交付する。	成果指標 指標名 (1) 在住外国人支援事業参加者数 指標説明 【行政】 指標名 (2) 子ども日本語教室受講者数 指標説明 【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	5	6	6	7	7	7	100.0	93.0
活動指標 (2)	2 人	0	0	0	25	28	25	112.0	
成果指標 (1)	3 人	669	600	634	700	765	800	109.3	
成果指標 (2)	4 人	0	0	0	20	18	40	90.0	
事業費	5 千円	27,095	54,440	49,129	52,354	48,681	53,220	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	14,362	4,252	4,172	4,172	4,159	4,159	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	41,457	58,692	53,301	56,526	52,840	57,379		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	41,457	58,692	53,301	56,526	52,840	57,379	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 073

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	杉並区交流協会助成	1	件	48,681
	その他 ()			
取組成果	<p>一般財団法人杉並区交流協会は、子ども日本語教室や外国人サポートデスク等の在住外国人支援事業及び、高円寺阿波おどりを交流自治体へ派遣する等の交流事業を実施しました。区役所1階で運営している「コミュかるショップ」では、交流自治体の特産品等を販売し、区役所来庁者に交流自治体の魅力を発信しました。区は、こうした取組が実施できるよう、杉並区交流協会に対して運営の補助を行いました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>杉並区交流協会は、在住外国人支援事業等の更なる推進とそれに伴う事故等へのリスク管理を含めた体制強化を図るため、令和3年4月に、これまでの任意団体から一般財団法人化しました。</p> <p>在住外国人支援事業の参加者数は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら計画どおり実施した結果、前年度比21%増の765人(目標値比109%)となりました。また、日本語教育推進事業では、区及び教育委員会と連携し、10～12月にボランティア養成講座を実施し、1月から試行的に子ども日本語教室にて18人の外国人児童を受け入れました。さらに、ウクライナ避難民への支援では、緊急支援寄附金の募金活動(約417万円)を行い、集まった寄附金を活用して渡航費や生活支援一時金等を支給(約126万円)しました。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>令和5年4月1日現在で、区の日本人人口は555,167人と前年度比で727人減少する中、区内在住外国人は17,301人と前年度比で2,270人増加しています。多文化共生社会の実現に向け、在住外国人が地域の一員として安心して暮らしていくことができるよう、日本語の学習・生活にかかる相談・地域との交流などができる拠点の整備が必要となります。</p> <p>また、令和5年5月に国の感染症対策が廃止された状況下で、各交流自治体の地域特性を生かした住民同士の交流事業の実施が求められています。</p>
現年度取組成果・予算執行状況(年度末までの見込含む)	<p>在住外国人支援事業として、5月に杉並の魅力や地域で安全・安心に暮らしていくための知識を学ぶ講座「外国人のための杉並さんぽ」を、6月に外国人にも分かりやすい日本語を学ぶ「やさしい日本語教室」を実施しました。また、令和4年度に開始した子ども日本語教室は、小・中学生に対して週2回、区民ボランティアとともに実施しています。多文化共生に向けた相互理解促進事業においては、11月に台湾の食・歴史・文化を紹介・体験する事業「まるごと台湾フェア」を実施し、12月にある国の文化や歴史を掘り下げて紹介する事業「海外文化セミナー」でブルガリアを取り上げます。</p> <p>ウクライナ避難民支援としては、令和5年7月までに4,886,007円の寄附金を受領し、19人に対して緊急一時金や日本語学習にかかる費用など1,279,415円を支給しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>区内の在住外国人は令和5年7月現在18,159人(前年度比1,888人増)となっており、今後も増加する見込みであることから、在住外国人が地域の一員として安心して暮らしていくことができる環境の整備が必要です。そのため、杉並区交流協会と連携して子ども日本語教室等の在住外国人支援事業の充実・発展を図るとともに、多文化キッズサロン(日本語を母語としない子どもが安心して立ち寄ることができる地域の居場所)の設置に向けた検討等を進め、多文化共生社会の実現に向けた取組を一層推進します。</p> <p>また、ウクライナ避難民への支援については、避難民の方に寄り添い、寄附金を活用して、ニーズに合った支援を継続して実施していきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>多文化共生(国籍や民族などの異なる人々が、互いに文化的なちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。)社会の実現に向け、杉並区交流協会が行う在住外国人支援事業等の事業に協力するとともに、これまでと同規模の助成を行っていきます。</p> <p>また、同協会と連携して、交流自治体への阿波おどり訪問団派遣や交流自治体での野菜収穫体験等、各交流自治体の地域特性を生かした住民同士の交流事業を推進していきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00073)

事務事業名称	杉並芸術会館の維持管理				款	03	項	01	目	03	事業	003	整理番号	076	
現担当課名	文化・交流課		係名	文化振興担当係		連絡先電話番号	3782		昨年度整理番号	076					
上位施策No・施策名	27 多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成15年度	実行計画事業	目標	08	施策	27	計画事業	01							
令和 4年度担当課名	文化・交流課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	文化・芸術活動を行う区民及び関係団体等	根拠法令等	(1) 杉並区立杉並芸術会館条例 (2) 杉並区立杉並芸術会館条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	演劇、舞踊等の舞台芸術の創造及び発信並びに区民の文化活動の拠点として、芸術文化の振興を図る。区民との協働により施設を運営し、地域のにぎわいの創出など、地域の振興を図る。	活動指標	ホール(座・高円寺2、阿波おどりホール)の貸出し回数 = 総利用数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	協定に基づく指定管理業務を実施する。芸術監督を設置し、芸術文化普及振興事業を計画・実施する。運営懇談会にて、芸術文化普及振興事業や施設の運営管理についての評価意見を求める。	指標説明	ホール(座・高円寺2、阿波おどりホール)の貸出し回数 = 総利用数
		指標名 (2)	芸術文化普及振興事業の実施延べ回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	協定に基づく指定管理業務を実施する。芸術監督を設置し、芸術文化普及振興事業を計画・実施する。運営懇談会にて、芸術文化普及振興事業や施設の運営管理についての評価意見を求める。	成果指標	ホール利用率
		指標名 (1)	ホール(座・高円寺2、阿波おどりホール)の総利用数 ÷ 稼働可能数【行政】
		指標名 (2)	芸術文化普及振興事業への参加者数
		指標説明	公演事業の年間延べ観客動員数+教育的事業への年間延べ参加人数【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 回	848	2,010	1,388	1,800	1,482	1,800	82.3	99.8	
活動指標 (2)	2 回	281	380	307	400	446	450	111.5		
成果指標 (1)	3 %	52	72	68	75	76	80	101.3		
成果指標 (2)	4 人	27,000	50,000	54,000	60,000	77,000	80,000	128.3		
事業費	5 千円	341,642	324,495	319,297	366,958	366,386	355,766	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	10,544	12,755	14,600	16,686	17,884	16,636		
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	352,186	337,250	333,897	383,644	384,270	372,402			
財源	受益者負担分	9 千円	7	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	10,967	13,000	8,056	12,000	16,045	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	10,974	13,000	8,056	12,000	16,045	0		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	341,212	324,250	325,841	371,644	368,225	372,402		

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 076

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	管理運営 (指定管理者)	1	施設	305,088
	芸術監督報酬の支出	12	月	4,200
	運営懇談会開催	3	回	161
	施設管理	12	月	40,866
	その他 (杉並芸術会館芸術文化普及振興事業費補助、地域協議会開催)			16,071
取組成果	杉並芸術会館(座・高円寺)の指定管理業務(施設維持管理、芸術文化普及振興事業)については、指定管理者及び芸術監督が連携・協力し、国等の感染症対策ガイドラインに沿った対策を講じながら実施した結果、ホール利用率は76%(令和3年度比8ポイント増)に改善しました。区立小学生の演劇鑑賞教室(参加者数3,493名)や演劇学校受講生の受入れ(13名)を再開する等、平常時の事業展開に戻りつつあります。このほか、区民や学識経験者等で構成される運営懇談会を計3回開催し、令和4年度の活動実績や令和5年度の事業計画に関する意見交換等を行いました。			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>【来館者数】平成21年度(開館時): 215,780人 令和元年度: 175,394人 令和2年度: 80,974人 令和3年度: 132,961人 令和4年度: 177,212人 年平均(開館以降): 約185,000人</p> <p>【主な施設】指定管理者による主催・提携事業で使用する座・高円寺1、区民等が演劇・講演等で使用する座・高円寺2、区とのパートナーシップ協定に基づき阿波おどり振興協会が優先利用するホール</p> <p>座・高円寺は、平成21年5月の開館以来、舞台芸術の創造と発信及び地域に根差した文化活動の拠点として運営しており、平成26年度に地域創造大賞を受賞するなど、高円寺4大祭りを中心とした地域との連携を深め、まちのにぎわいや経済活性化に寄与しています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>令和4年度の芸術文化普及振興事業は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら積極的に事業を実施したことから、事業数は前年度比45%増の446回(目標値比112%)、参加者数は前年度比43%増の77,000人(目標値比128%)となりました。</p> <p>区では、座・高円寺の運営について、文化・芸術振興審議会や杉並芸術会館の運営に関する懇談会等の意見を踏まえ、令和5年4月に「今後の運営の方向性」を定めました。この「今後の運営の方向性」を公募で選任する次期芸術監督(令和5年7月任命)及び指定管理者と共有し、より一層公共劇場としての役割を果たしていくことが必要です。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込含む)	<p>令和5年度は、新芸術監督を迎え、新たな体制での運営を開始しました。指定管理者は、これまでの経験等を活かし、芸術会館の適切な運営及び維持管理について継続して取り組みます。また新芸術監督は、芸術会館の現状を把握することから始め、新体制の特色を活かしたより質の高い舞台芸術を区民等に届けられるよう、指定管理者との連携・協力を進めてまいります。コロナウイルスによる感染症が5類に分類されたことから、文化振興事業参加者数をコロナ禍前まで回復することを目指し、区民等が安心して利用できるホール運営と優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供に取り組みます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>座・高円寺の運営について、文化・芸術振興審議会や杉並芸術会館の運営に関する懇談会等の意見を踏まえ、令和5年4月に区が定めた「今後の運営の方向性」を新芸術監督と指定管理者が共有し、双方が協力・連携しながら、公共劇場としてより一層質の高い舞台芸術を区民等に提供していきます。またコロナウイルスによる感染症が5類に分類されたことから、文化振興事業参加者数をコロナ禍前まで回復することを目指し、区民等が安心して利用できるホール運営と優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供に取り組みます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	令和5年度に選任した新芸術監督と指定管理者が運営する座・高円寺が令和6年度も公共劇場としての役割をしっかりと果たしていけるよう、区は芸術監督・指定管理者とともに連携・協力していきます。	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00075)

事務事業名称	杉並公会堂 (P F I 事業)				款	03	項	01	目	04	事業	001	整理番号	078	
現担当課名	文化・交流課		係名	文化振興担当係		連絡先電話番号	3782		昨年度整理番号	078					
上位施策No・施策名	27 多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進								予算事業区分	投資事業					
事業開始	平成18年度	実行計画事業	目標	08	施策	27	計画事業	01							
令和 4年度担当課名	文化・交流課								事業評価区分	施設維持管理					

令和 4年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区民、文化・芸術団体	根拠法令等	(1) (2)	民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律 杉並公会堂改築並びに維持管理及び運営事業契約書
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民への良質な文化芸術を鑑賞できる機会の提供などとともに、区民自らの文化・芸術活動を気軽に行える場とする。	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区民の文化・芸術活動を始めた多様な活動場所の提供と、杉並の文化の発信拠点となる杉並公会堂を民間の資金や能力を活用した P F I 手法により運営する。 公演など自主事業を行うほか、区民が気軽に利用できるように、ホールやスタジオ等の貸し出し事業を実施する。	指標説明	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度対計画比 (%)	令和 4年度予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 (1)	1								100.0
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	821,896	831,264	828,628	825,623	825,576	854,107	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	8,928	8,503	8,677	8,343	8,983	8,318	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	830,824	839,767	837,305	833,966	834,559	862,425		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	634	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	634	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	830,190	839,767	837,305	833,966	834,559	862,425	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 078

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	施設サービス購入	2	回	374,595
	維持管理・運営サービス購入	4	回	450,937
	その他 (事業者連絡会開催)			44
取組成果	<p>杉並公会堂では、区、日本フィル及びPFI事業者の三者による実行委員会方式の協働事業である日本フィル杉並公会堂シリーズを4回行うなど、計33回の自主公演を実施しました。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた稼働率は、大ホール78%、小ホール89%、グランサロン72%、スタジオ63%となり、全ての施設において令和3年度に比べて利用が増加しました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年度も引き続き、日本フィルハーモニー交響楽団によるコンサートや、落語公演等25回の杉並公会堂自主公演を、計画どおり実施しています。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策による施設利用の制限がなくなり、現在はコロナ禍以前の運営に戻りました。それにより、4月から7月の施設の稼働率は、大ホール (84%)、小ホール (91%) を含む全ての施設が令和4年度の数値を上回っています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により減少した来館者数 (令和4年度240,244人、令和元年度比23%減) の回復を図るために、魅力的な自主事業を行うと共に、区民等が利用しやすい施設環境を整えるよう、引き続きPFI事業者と協力して事業に取り組みます。</p> <p>また、令和6年1月から8月までの大規模修繕による休館について利用者への周知の徹底と、工事の円滑な実施のため、PFI事業者との連絡調整を綿密に行っています。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>区は、PFI事業を活用して約33年間 (平成15年～令和18年) に渡り、PFI杉並公会堂株式会社と「杉並公会堂改築並びに維持管理及び運営事業契約」を締結しています。</p> <p>PFI事業導入により、区が設計・運営・維持管理を直接行う場合に比べ、一括して特定事業者に委ねることで、財政支出を抑制することができます。引き続きこの制度を安定的に運営していくことで、区の財政支出の抑制を図っていきます。</p>	